

発行
2014年
4月
1日

み と し ん ぶ ん
未杜新聞

地域通貨：未杜

52
号



あなたの参画が多様性を認め合うコミュニティづくりの輪へ
あなたの余剰を分かち合う優しさが丹波の自然をまもる輪へ
あなたのすてきな能力の提供がコミュニティの自立と共生へ

人権・環境・共生



発行所：NPO 法人丹波まちづくりプロジェクト事務局：〒669-3571 丹波市氷上町新郷 1574

* 編集人：赤井俊子 Tel/Fax0795-82-0065 E-mail：syunko27@yahoo.co.jp URL：<http://mito.tamba.tv>

オリンピック雑感

2月中はオリンピックで睡眠不足の人も多かったようだ。毎回メダルの獲得数が話題になるが、好成績の期待を報道されてきた選手は大変なプレッシャーだろう。そんな状況で期待通りの成果を上げるのは人智を超えた好条件に恵まれるか、強靱な精神を備えているに違いない。そんな中で、立場もタイミングも弁えない能天気な老醜（Mr. KY）の放言が関心を生んだので2020年の東京大会が不安になってきた。

2020年に向けて更なる好成績には強化費用の大幅な増額が必要だという声が上がっている。正しい面もあるが、今回の冬季大会最多というわが国の派遣選手団のうち113人の選手数に対して、「役員」が135人であった。こんな状況では選手のための強化費だと考えて増強された経費が選手でない人達に費消されているのではないかと心配される。強化費用の増額の際には費用配分も明示してほしいものだ。

オリンピック報道に関して、わが国ほど熱狂的な国はないといわれていたがイギリスでは1980年のレークプラシッドの男子フィギュアで優勝したロビン・カズンズの映像が連日連夜放映されていた。これを観てわが国だけが特異ではないのだと思ったものだ。選手を送り出している国にとっては好成績は大きな関心事のようだ。

ソチ・オリンピックの終盤にウクライナでの紛争が報道された。外交情報に疎いものにとっては、今回のロシアと欧米諸国との非難合戦は、他の地域での立場を異にした議論の対立と類似していると思う。北京大会の時にグルジアでの紛争があったように、スポーツと政治との関係は一向に解決されないままオリンピックの時期に確執が顕在化するようだ。ところで、日韓、日中の関係が改善されないばかりか、日米関係にも翳りが見える状況下で安倍首相のロシアへの対応は更なる不安要素を醸成することになるのではと憂慮されるが、この辺りにも関心を持ち続ける必要があるようだ。

未杜男

予告 <総会と4月井戸端会議>

日時：4月26日（土）13時30分

場所：氷上住民センター実習室

1：NPO 法人丹波まちづくりプロジェクト
（地域通貨：未杜）総会

2：4月未杜井戸端会議

○観光まちづくり

立命館大学非常勤講師 寺本光雄氏

<施設訪問> 4月22日（火）

未杜ひばりによる青葉荘訪問。参加希望の会員さんは22日13時青葉荘にご集合ください。

<5月未杜井戸端会議>

○Gassy研究会（兵庫県立大学の力宗先生を代表とするグループ）と歩く市島の里

訪問先：山名酒造見学と試飲他

日時：5月10日（土）午前10時

場所：市島駅集合

<6月未杜井戸端会議>

○初夏の風に乗って大声で歌う

日時：6月18日（水）午前10時

場所：丹波の森公苑

未杜ひばりのみなさんと一緒に歌います

報告 <1月未杜井戸端会議>

「経済よもやま話」と題して未社会員の岸田 功さんにお話をいただきました。インフレやデフレのことがよくわかったと好評でした



<2月未杜井戸端会議>

男性向けペアスタイルクッキング教室

* あなたの好きな料理を一緒に作りましょう
一人暮らしの男性も好きな料理ができるようにと計画しました。手軽に惣菜や弁をも買うことができますが食べたいものを自分で作れたらきっと生きがいになることでしょうペアクッキングでは一人一人の好みの料理を作りました。



<未杜決算パーティ>

2013年度未杜決算パーティ



恒例の未杜決算パーティも無事終了しました。リサイクル楽器演奏ではみなさん興味を持っていただきました。頭でのピアニカ演奏は人気があったようです。吉田屋さんの未杜パーティのための試作ごまケーキも好評でした。また未杜リサイクルのためにかわいい手作りのクッションやティッシュケースを作っていたいただいた長久さん、古屋さんありがとうございました。

もみじが丘病院副院長・芝伸太郎先生をご紹介します

芝先生は福知山市もみじが丘病院副院長としてご活躍され、多くの著者や論文なども書かれています。また、地域通貨が「うつ病」に効果があるというご意見もお持ちで論文で地域通貨について述べられたこともあります。

先生に未杜新聞 51号をお送りしたところ、「会員紹介」欄の平井孝彦さんの文を読まれて以下のようなご感想を下さいました。文面どおりにみなさんにご紹介したいと思えます。

芝 伸太郎先生（紅葉丘病院副院長）

芝先生の著書

「うつを生きる」（ちくま新書）「日本人という鬱病」

「こころの病理学」（京大人気講義シリーズ）など著書多数

.....

赤井俊子様

あけましておめでとうございます。また、未杜 51号を御送りいただきまして、誠に有難うございました。

平井孝彦氏の文章を読ませていただきまして、介護と地域通貨について考えを巡らせました。

認知症高齢者が増えて、我々医療関係者も入所介護施設を探すのに四苦八苦することがあります。つまるところ国の財政難は解決されないどころかますます悪化してゆくことが確かである以上、今のやり方では介護福祉業界は破綻します。円を循環させる経済構造ではもはや高齢者福祉を支えることはできないということです。

介護というサービスは、地域通貨に馴染みやすいように私は思います。介護事業によって雇用を生み出すという発想ではなく、雇用と切り離していかに介護サービスの継続的提供が可能になるのかを模索する時期にきているような気がします。

世間では「成長成長」と騒がれておりますが、地球の資源が有限である以上成長には必ずピリオドが打たれるわけですから、成長を伴わない幸福というものを考えるべきです。

地域通貨を法定通貨へと両替を認めるやり方は、地域通貨の可能性を広げるかのごとくに見えて、その実、密かに成長願望が組み込まれているだけではないかと私には思われます。

法定通貨から地域通貨という一方向のみを認めるという本来のシステムの方が、地域通貨の真価が発揮されるのではないのでしょうか。

未杜新聞を拝読して思いつくままに書いてしまいました。精神科臨床に直結させることは困難にしても、今後あるべき社会を構想してゆくために、私は地域通貨に関心を持ち続けるつもりです。今年もよろしく御願い申し上げます。

もみじヶ丘病院 芝 伸太郎

会員 紹介

今月は氷上町の富田信孝さんです。

人の寿命が40歳から50歳であった時代には50歳と聞くと相当年長者と思えたものですが今では年長者とは80歳ぐらいを指すのではないのでしょうか。時代が進むにつれて医療が進歩し、人々の健康に対する意識も高くなり寿命が延びました。現代では60歳代の人々自身にも年長者という意識はないようですし、多くの方が元気で頑張っておられます。60歳を過ぎた私も同じように思っています。



私は若い時は大学に入って教師になるつもりでしたが目指す大学の入学がかなわず、親父から畜産業を手伝うように言われました。そしてそれまで全く予想しなかった世界で仕事をすることになりました。数年間は酪農の搾乳をしながら休憩時は読書をするという生活が続きました。ある日、父から商売をするように勧められ事業界に入りました。その頃は田中角栄の時代でホクレンのトップグループや政界トップと仲良くさせて頂き若年ながら大きな利益を得て、この世界の面白さを知りました。昼夜を問わず懸命に働きバブル期も乗り越えることができました。けれども60歳まじかになった頃から酪農家の数が徐々に減少し始めました。それにしただがって仕事も少なくなり今では仕事以外のことにも時間を使う余裕ができま

した。現在は赤井先生に英会話の講義を受けたり、また他の習い事も始めてこれまでとは随分違った世界を知るようになっていきます。本業以外のことに時間を費やすようになり毎日とても忙しい生活を送っています。50歳の時、脳梗塞を患い記憶力は落ちましたが頭を使うことによってどんな病気にも耐えていこうと思うこのごろです。これから先もさまざまなことに対して精一杯頑張ろうと思っています。

2014年1月以降寄付をいただいた方です。ありがとうございました。
○梅垣喜美代さん
(商品券)

- 1月～3月の未杜流通結果
- マッサージ器○チャイルドシート
 - 送迎○カメラ○チラシ配布○剪定
 - 井戸端会議講師○手芸品○果物○お酒○コーヒー○調味料○花の苗
 - ティファール電気器具○タオル
 - サスペンス単行本○手作りたわし
 - 他
 -
 - サービス依頼 (自然農法：他力米作り手伝って下さい)
 - 1時間300未杜
- 内容
- | | |
|----------|---------------|
| コシヒカリ手植え | 5月下旬 |
| 稲手刈り | 9月下旬 |
| 足踏み脱穀 | 10月中旬 |
| 精米1キログラム | 300未杜でお分けできます |
- 一緒にやってみようと思われる方は下記までご連絡下さい
- 他力農園 {東野忠満}
電話 0795-82-1034